

消費者だより

役員・理事からのメッセージ

(松木 恵美子)

今年も熱中症を心配する季節になりました。昨年の夏よりも暑くなる予報も出ていて、水分補給が欠かせませんね。さて、消協の創立50周年を迎えての記念式も無事終わり、新たにスタートを致しました。今日の社会は、より複雑な消費者被害が増加しています。SNSでの被害額も高額で深刻な様相です。甘い話にはワナが潜んでいます。即決は避けましょう。その時にできることはきっと有るはずです。相談したり、疑ったり、どこに災難が有るか分かりません。十分に気をつけたいものです。月日の経つのは早いものですね。今年も仲間と共に学んだり、有意義な時を共有していきたいと思います。



活動紹介 ①

○ 創立50周年記念式及び定期総会を開催

4月26日(金)、市立図書館3階研修室において、当会創立50周年の記念式、引き続いて定期総会を開催しました。

記念式は、藤井会長の挨拶に続き、来賓として臨席いただきました米澤光治市長からご挨拶を頂戴しました。その後、長年当会の理事として尽力していただいたお二人に感謝状を贈呈しました。最後に、発行した「記念誌」を市長に贈呈させていただき、閉会しました。昨年度から取り組んできました創立50周年記念事業を、

(記念式風景)



(感謝状贈呈)



(記念誌贈呈)

昨秋に開催した記念講演と今回の記念式をもって無事終わることができ、ほっとしています。

その後、定期総会を行い、全議案を承認しました。総会終了後は、濱頭潤子敦賀市消費生活相談員を講師にお招きし、「消費者被害に遭わないために」をテーマに、学びのひと時を持ちました。

○ 消費者フォーラムに参加して

5月25日(土)、AOSSA(アオッサ)8階の県民ホール・アトリウムにおいて「デジタル時代に求められる消費者力とは」のテーマのもと、「いきいき消費者フォーラム in 2024」が開催されました。

(開会挨拶)



当会は、パネル展示で活動紹介「賢い消費者を目指して」と、「小学生向け出前講座の充実に向けて」のステージ発表を行いました。

(パネル展示)



平成26年度から取り組んできた児童クラブでの出前講座は、地球温暖化について学び、私たちにできることは何かを子どもたちと一緒に考える内容の独自のプログラムであり、楽しく学べる工夫として、「エコキャップアート」や「お買い物ゲーム」など遊びのプログラムと合わせて2部構成で実施してきました。しかし、コロナ禍では遊びのプログラムを実施できず、紙芝居や、「ライフスタイルで環境を考える」の県提供教材を取り入れて実施しました。これらの取り組みについて5名で発表しました。

(ステージ発表)



その他、坂井高校の「サステイナブルな農業からサステイナブルな未来構築へ」と題した絶滅危惧種の保全活動への取り組みや、福井商業高校JRC部の「ゆるゆるスマホ教室」～デジタルは苦手だなんて言わないで～のステージ発表がありました。

午後からは、テレビなどでお馴染みの紀藤正樹弁護士による「悪質商法の被害に遭わないために！～デジタル時代に必要な消費者力～」についての講演会がありました。

(講演会)

国民生活センターによると2022年度の消費生活相談件数は89.6万件で、特に「定期購入」に関する相談が全体の1割を占めているとのこと。契約当事者の年代は23%が70歳以上で被害単価も高額化していることなど、消費者被害の現状についてのお話や、消費者被害から身を守るためには「事前の知識」として手口を知ること、「事後の知識」として相談先を知ること、また、「クーリングオフ」や「消費者契約法」などの最低限の法律知識を知り、被害者の泣き寝入りと加害者のやり得を許さない社会を目指すことなど話されました。



活動紹介 ②

○ きらめきフェスティバルに参加して

6月8日(土)、大野市(結ヒア)において、“ふくいきらめきフェスティバル 2024”が開催され、敦賀からは各団体から25名が参加しました。

オープニングは、勝山高等学校日本文化部による和太鼓演奏、見事なバチ捌きに終始圧倒され、太鼓から離れると女の子らしい歌声とその変わる様に、びっくりしました。素晴らしい演奏で心が洗われました。



式典は、驚頭副知事、清水県議会副議長、石山大野市長、高田同市議会議長よりそれぞれ挨拶がありました。

特別鼎談は、映画「おしよりん」原作者の藤岡陽子氏、脚本家の関えり香氏、フリーアナウンサーの井上愛梨氏の3人が「おしよりん」に見る女性の生き方とこれからの福井の女性像をテーマにトークされました。映画のシーンや時代背景に触れながら、女性の位置付けを紹介されました。私は、原作者の藤岡さんの経歴の凄さとバイタリティ溢れる人柄に魅力を感じました。今でも月4回脳外科で看護師をされているとのことでした。自分の好きなことをどんどんやる、また、やりたい事を通して回りからすごいね!!などと言ってくれる明るい社会を・・・との言葉に、私はどうだろう?と、やりたい事をやっているののだろうかと考えさせられました。私は、今、自分ができる事を精一杯やろうと思います。



午後からは映画上映「おしよりん」を初めて見ました。いつか見たいと思いながら、今日見せていただき嬉しく思いました。今やメガネは、95%が福井で生産されているが、その始まりは明治時代に遡る。



おしよりんとは、田畑をおおう雪が固く凍った状態をさす福井の言葉、おしよりんになれば、回り道をせず好きな所へまっすぐ行ける、いくつになってもどんな時も夢に向かって、自由に突き進もうという想いが込められた、挑戦と情熱と愛の物語である。今では当たり前のメガネだが、こうした先人の苦労・苦難があって、今や世界中から注目の福井である。とても誇らしく思う。そして、その先人の妻の存在がどんな状況であろうとも、夫を支え、励ましてきた女性の強さがあった。ただただ頭が下がる、とても素晴らしい感動の映画でした。大変、有意義な一日をありがとうございました。

インフォメーション

○ 児童クラブへの出前教室



- ・開催時期：7月～8月
5回予定)

- ・目的：消費者教育は大人だけではなく子どもまで階層別に行う必要があり、当会は平成26年度から小学生向けの出前講座を実施。

- ・内容：わかりやすいプログラムで、子ども達と一緒に環境等について学ぶ。

- 地球温暖化とは フードマイレージとは
- 私たちにできることは
- ライフスタイルで考えよう
- お買い物ゲームで考えよう

[令和5年度の出前教室模様]



○ 研修旅行 <検討中>

- ・開催時期：秋(10月予定)
- ・場所：嶺南エリア
- ・テーマ：まちづくりを学ぶ
食文化を学ぶ



○ 会員を募集しています

- ・あなたの周りに、消協の活動に関心のある方はいらっしゃいませんか? 消協では「賢い消費者になろう」を合言葉に、研修、勉強会、啓発活動を行っています。
- ・私達の生活に役立つことを、一緒に学び実践しましょう。ご友人もお誘いいただき是非ご加入ください。

○ 体と環境に優しい石鹼利用を推奨しています。

- ・お問い合わせは以下までお願いします。
☎ 藤井 真理子 ☎ 090-5179-2056

編集後記

“いきいき消費者フォーラム”において、私たちの活動の一環として夏休みに行う小学生向け出前教室の取り組みについて発表する機会を頂き、多くの方に知ってもらえることができ感謝です。地道な活動ですが、子ども達に楽しんで学んでもらうため、今後も試行錯誤を重ねていきたいと思っています。今年も子ども達と暑い夏を乗り切りましょう!

